

「鹿、増加中!!」



▲鹿の角で作られた笛



▲鹿の角で作られたナイフの柄

近年、鹿による農作物への被害が増加傾向にあります。農林水産省の調べによると、令和5年度の全国の野生鳥獣の被害は164億円で、その内70億円は鹿による被害とのことです。

広島県では3年前から鹿の生息範囲が北上し、庄原市内でも20頭以上の鹿の群れが目撃されています。鹿による農作物被害に加え、道路への飛び出しで自動車と衝突する事故や、春の季節に鹿が落とす角が農作業機械に巻き込まれて故障につながるトラブルも増加していますので注意が必要です。

一方、鹿が落とす角は縁起物として部屋に飾ったり、加工してバードコールや人への合図をする笛や、手に馴染みやすく、力を込めやすいナイフの柄になる等、意外な活用方法があるようです。

しかしながら、鹿の登場は農家にとっては新たな悩みの種で、大きな被害となる前に早急な対策が必要となるでしょう。



▲庄原市内で確認された鹿の群れ

庄原市食育ポスターコンクール 令和6年度受賞作品紹介!

庄原市主催の市内の小学生を対象とした食育ポスターコンクールが今年度も開催されました。令和6年度の農業委員長賞・農業委員女性委員特別賞に輝いた2作品をご紹介します!



農業委員長賞
永末小学校4年 藤原 希



農業委員会女性委員特別賞
高小学校4年 林 若菜



降雪と北風が続く中、いかがお過ごしでしょうか。気温は冷え、財布もなかなか温まらない今日です。

米の価格上昇にともない、お店では輸入米を度々見かけるようになりまし。安さは魅力ですが、日本米は世界に誇れる食料。価値が高くて当然ではないかという思いと同時に、美味しい日本の食料を一生懸命作ってくださる農家のみなさまに感謝しなければならぬと感じました。

厳しい寒さや逆風にさらされようと、誇れるモノはずっと温めて守っていききたいものです。

編集後記



●庄原市農業委員会の理念●

- ①担い手への農地利用の集積・集約化
- ②遊休農地の発生防止・解消
- ③新規参入の促進

令和7年2月20日(第9号)

編集・発行
庄原市農業委員会 広報委員会
TEL 0824-73-1133
FAX 0824-72-3322
MAIL nougyou@city.shobara.lg.jp



がんばってます!
「庄原の畜産農家」



庄原市では長きに渡り、牛を自然の恵みとして、そして家族の一員として畜産業が営まれてきました。しかし、施設の維持管理費や飼料代の高騰が続き、経費を価格転嫁することも難しく、収入増が見込まれないことから畜産農家が減少しています。庄原市では、2000年には834戸あった和牛・乳牛農家が2023年現在では176戸まで減少しています。

そんな厳しい状況の中でも、畜産農家の方々は先人から受け継いだ畜産業を未来につなげようと日々活動していっています。

今回は畜産農家のお仕事や子どもたちの体験会等の活動の様子を写真にてお届けします。

(注) 体験会は安全面・衛生面に十分配慮して行っております。